

チンゲン菜の定植



3月上旬、チンゲン菜の苗の定植をしました。苗になるまでは育苗箱で育てますが、これは発芽の時期をそろえるとともに、水管理をしやすくするためだそうです。根が土とよく絡まっている（根鉢）ため、土を掘って植えるのではなく土に挿し込むようなかたちで定植を行いました。チンゲン菜は播種から収穫までの期間が短いため、今から収穫が楽しみです。

ちなみに、写真にあるようにマルチシートを敷いてから定植を行いますが、これは雑草が生えないようにしたり、土壌水分を保持したりするためだそうです。また、夏場は白いマルチを使用することで、温度調節をするそうです。

